

SASBスタンダードに則した情報開示

■ 前提条件

- ・三菱地所(株)は、SASBスタンダード分類の「インフラストラクチャー／不動産」に該当しており、当業界の開示フレームワークに沿って情報開示を行います。
- ・サブセクター分類は、SASBスタンダードに規定の通り、GRESB分類に準拠したものとしています。
- ・本数値の対象範囲は、三菱地所(株)単体のみとなっており、SBTやRE100とは対象範囲が異なることをご了承ください。
- ・本数値は、第三者検証を行っている数値ではないことを、ご了承ください。

■ サステナビリティ開示トピックと会計指標(2018年度データ)

<エネルギーマネジメント>

	単位	コード	商業/ハイストリート	商業/SC	オフィス	ヘルスケア	駐車場(屋内)	その他
総床面積の割合によるエネルギー消費データ計測範囲	床面積当たりの%	IF-RE-130a.1	100	100	100	100	100	100
データ計測を実施しているポートフォリオの総エネルギー消費量	GJ	IF-RE-130a.2	15,308	104,454	1,183,481	2,810	2,295	614
グリッド電力の割合	GJ	IF-RE-130a.2	0	0	0	0	0	0
再生可能エネルギーの割合	%	IF-RE-130a.2	0	0	0.75	0	0	0
データ計測を実施しているポートフォリオ全体のエネルギー消費量の同一条件下(L-f-L)での経年変化率	%	IF-RE-130a.3	▲4.91	▲0.70	1.71	▲14.12	-	2.84
エネルギー格付を取得している適格ポートフォリオの割合	床面積当たりの%	IF-RE-130a.4	0	0	0	0	0	0
ENERGY STAR認証を受けた適格ポートフォリオの割合	床面積当たりの%	IF-RE-130a.4	0	0	0.28	0	0	0
	単位	コード	内容					
建物のエネルギーマネジメントへの配慮が資産投資分析や事業戦略にどのように組み入れられているかについての説明	該当なし	IF-RE-130a.5	当社は、2020年1月にRE100に加盟し、再生可能エネルギーの利用割合を2050年までに100%まで高めることを目標として掲げており、本目標に沿って、事業活動のあらゆる局面で再生可能エネルギーの利用が図れないか、多面的な観点から検討を進めます。また、可能な限り、不動産環境認証(DBJグリーンビルディング認証、CASBEE等)を取得する方針としています。					

<ウォーターマネジメント>

	単位	コード	商業/ハイストリート	商業/SC	オフィス	ヘルスケア	駐車場(屋内)	その他
総床面積の割合による取水データ計測範囲	床面積当たりの%	IF-RE-140a.1	100	100	100	100	100	100
水ストレスが「高い」「極めて高い」地域の床面積に対する割合	床面積当たりの%	IF-RE-140a.1	未集計					
データ計測を実施しているポートフォリオの総取水量	千m ³	IF-RE-140a.2	57	533	2,552	16	7	4
水ストレスが「高い」「極めて高い」地域の割合	%	IF-RE-140a.2	未集計					
資産サブセクターごとの、データ計測を実施しているポートフォリオ全体の取水量の同一条件下(L-f-L)での経年変化率	%	IF-RE-140a.3	5.25	▲0.20	▲5.47	▲0.69	▲7.06	▲7.89
	単位	コード	内容					
ウォーターマネジメントにおけるリスクの議論、およびリスク低減に向けた戦略と取り組みに関する説明	該当なし	IF-RE-140a.4	当社は、主に雨水や上水の使用水を施設内の設備で浄化し、トイレの洗浄水などに活用しています。このように、中水*利用を確実に推進すべく、中水利用率をサステナビリティ上のKPIとして設定し、かつ2030年まで継続して中水設備の導入率を100%とする目標を掲げています。 *上水として生活用水に使った水を、下水道に流す前に再生処理をしてトイレ用水や散水、冷却・冷房用水、清掃用水などとして再利用する水					

<テナントのサステナビリティインパクトのマネジメント>

	単位	コード	商業/ハイストリート	商業/SC	オフィス	ヘルスケア	駐車場(屋内)	その他
資源効率に関連する資本改善に対するコスト回収率を含む新規リースの割合	床面積当たりの%	IF-RE-410a.1	未集計					
関連リース床面積	m ²	IF-RE-410a.1	未集計					
グリッド電力消費	床面積当たりの%	IF-RE-140a.2	0	0	0	0	0	0
取水を個別に、またはサブメーターで計測しているテナントの割合	床面積当たりの%	IF-RE-140a.2	未集計					
	単位	コード	内容					
テナントのサステナビリティインパクトを測定、動機づけ、改善するためのアプローチに関する議論	該当なし	IF-RE-410a.3	テナントと協働で各種環境関連の取り組みを推進・改善すべく、テナント向けに省エネ関連の取り組み事例等を紹介するガイド(サステナビリティガイド)の作成、ならびに契約書雛形にグリーンリース条項を新設するなどの対策を行っています。 また、首都圏のISO14001対象ビルにおいて、地球温暖化協議会を毎年開催し、CO ₂ 排出や省エネの進捗状況、省エネの取り組み事例などの紹介を行っています。					

<気候変動適応>

	単位	コード	商業/ハイストリート	商業/SC	オフィス	ヘルスケア	駐車場(屋内)	その他
100年確率洪水地域にある資産の面積	m ²	IF-RE-450a.1	未集計					
	単位	コード	内容					
気候変動リスクエクスポージャー分析、体系的ポートフォリオエクスポージャーの程度、リスク低減戦略に関する説明	該当なし	IF-RE-450a.2	詳細は、「TCFD提言に基づく情報開示」における、「(2)戦略」の箇所をご参照ください。 (URL: https://www.mec.co.jp/j/sustainability/activities/environment/tcfd/tcfd_Recommendations.pdf)					

■ 活動指標(2018年度データ)

	単位	コード	商業/ハイストリート	商業/SC	オフィス	ヘルスケア	駐車場(屋内)	その他
資産サブセクターごとの資産数	件	IF-RE-000.A	3	8	49	2	1	1
資産サブセクターごとの賃貸可能床面積	m ²	IF-RE-000.B	52,378	607,603	4,717,870	11,657	21,430	3,387
資産サブセクターごとの間接管理資産の割合	床面積当たりの%	IF-RE-000.C	0	0	0	100	0	0
資産サブセクターごとの平均占有率	%	IF-RE-000.D	98.14	98.14	98.34	100	-	100